

# 英 語 科

## 1. はじめに

### ○英語を学ぶ意義

皆さんは何のために英語を学ぶと思いますか。

英語が理解できるようになり、英語で表現できるようになると、大学入試で結果が出るだけでなく、その後の勉強・研究や、将来の仕事、そして日常生活など、様々な面で大きなメリットがあります。世界的な規模で考えると、多くの情報は英語で発信されています。目的に合った知識や情報をより多く得るために、英語力は必須の技能と言えます。

**しかし、それだけではありません。**英語を学ぶと、他にどんな良いことがあるのか。それは、「日本語で考えることしかしてこなかった頭に別の視点が加わる」、ということです。人間はことばによってものを考え、ものの捉え方はことばに反映されます。日本語と英語では、文の構造や文章の組み立て方が異なるので、英語を学ぶことで、より幅広いものの見方や論理的な思考ができるようになります。また、あまり注目したことがないかも知れませんが、日本語と英語には似ている点も多くあります。それは私たち日本人と英語を母語とする人々が共有しているものの捉え方や能力の反映であるとも言えます。外国語を知ることは、広く人間を理解することにもつながるのです。

### ○北園では「英語プラス1」

世界には英語の他にも多くのことばがあります。さらに別の外国語やそのことばを使っている人々の文化を学ぶことで、多角的なものの見方、客観的な思考ができるようになり、ことばや人間についての理解も深まります。

北園高校では第二外国語科目として、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語の講座が設置されており、1年次から選択することができます。このような恵まれた環境を是非生かし、より広い視野と教養を身につけてほしいと思います。

## 2. 英語力向上のポイント

### ○家庭学習が不可欠

高校での英語の学習がうまく行くかどうかは、**家での勉強にかかっています。**

授業は、「家で予習してきたことを確認し理解を深める場」、「家で復習するための材料が提供される場」であると心得てください。

予習をすると疑問点が明確になり、授業のどこに意識を集中すればよいか分かっているので、集中力が途切れにくく、授業中に重要項目を覚える余裕もできます。復習にかかる時間もずっと少なくてすみます。**予習することは面倒なようで、実はとても効率的**なのです。部活動や行事の準備等で疲れていても、**必ず予習は行うこと。**

また授業内容は、短時間でもよいので早いうちに**復習することが重要**です。**テスト前に詰め込むだけでは定着しません。**定期テストで良い点を取るだけでなく実力をつけるためには、復習も欠かせないのです。

具体的な予習復習のやり方については、科目ごとの説明のところを見てください。

### ○「繰り返し」と「毎日」が効果的

外国語を身につけるには、その言語に**触れる機会をたくさんもつ**ことが重要です。授業で扱う教材以外に、週末課題等で自習用の教材をやってもらいますが、英語力を身につけるためには必要なことです。

教材の勉強法は、「**繰り返し**」と「**毎日**(少しずつでも)」がもっとも有効なやり方です。例えば毎週行われる単語テストの勉強は、短時間でも毎日やること、テスト範囲を何度か繰り返すことで効果が出ます。忙しい生活の中でも**時間を作り、勉強を習慣づけ、継続して**行いましょう。

### ○理解した上で覚える

母語と外国語では習得の過程が違います。皆さんは幼い頃、毎日浴びるように日本語を聞いて日本語を習得しました。しかし外国語を学ぶときには、その言語の規則性（つまり文法）を、発達した脳を使い、すでにもっている母語の知識を利用して、比較し理解しながら意識的に、身につけていくことが効果的です。語学には丸暗記も必要ですが、なぜそうなるのか、できるだけ理解した上で覚えることで、知識も定着し、語学力も身につくのです。

### ○音読が力をつける鍵

高校生になると音読をやらない人が増えます。しかし、実はこの音読が語学力向上の鍵なのです。黙読→「目からインプット1回」ですが、音読→「目からインプット、口からアウトプット、耳からインプット」、と一度に3回分の効果があります。

また、声に出して読む速度が上がると、リスニングで聞こえるスピードも上がります。家庭学習用のCD等も活用して、英語の上達のために復習に音読を取り入れましょう。

### ○生きた英語の学習を

英語は今や、私たちの身近にあふれています。音楽や映画、インターネットを通じたコミュニケーションなど、自分の好きなことを通して英語を学んでみましょう。また、北園高校には英語を使えるチャンスがたくさんありますので、積極的に活用してください。継続して英語に触れていく機会をもつことが大切です。間違いを恐れず、積極的に英語でコミュニケーションを図り、世界に飛び出していきましょう。

## 3. 成績について

原則として以下の「評価の観点」に従い、定期テスト・小テスト等の得点・宿題・課題等の提出物の評価・授業への出席状況・授業態度を鑑みて総合的に判断し、成績を出します。

### 観点1 知識・技能の習得（体系化、汎用性）

外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。

### 観点2 思考力・判断力・表現力の育成（思考力、判断力、表現力）

場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。

### 観点3 主体的に学習に取り組む態度（実践力、協働力）

他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

## 4. 3年間の学習の見通し

北園高校英語科では、様々なジャンルの英語の文章の内容が理解でき、日常的な話題についてまとまった内容を英語で表現できる力（＝大学入試で求められる英語力、＝将来役に立つ英語力）を身につけられるように、3年間を見通した計画を立てています。高校入試レベルからそのレベルまで到達するのは、決してたやすいことではありません。しかし、1年生の時から、授業と家庭学習に

コツコツ取り組んでいくことで、やがてその力が身についてきます。一日一日を大切に、頑張ってください。

#### 1年次 【高校英語の基礎固めと学習方法の確立】

- ・ 予習復習の習慣の定着 ・ 語彙（単語集使用、大学入学共通テストレベルまで）
- ・ 文法（文法書と準拠テキストで、高校の学習内容を一通り）
- ・ リーディング（教科書・問題集・その他副教材）
- ・ リスニング（教科書、JETの授業で） ・ ライティング（基本英文の暗記と活用）
- ・ スピーキング（教科書、JETの授業で）

#### 2年次 【受験の基礎 = 大学入学共通テストレベルの確立】

- ・ 家庭学習の充実 ・ 語彙（単語集・教科書等各使用教材を活用）
- ・ 文法（教科書・自学用教材で、1年次の学習内容の補強）
- ・ リーディング（教科書・問題集を使った精読・速読、入試基本レベルまで）
- ・ リスニング（教科書、リスニング教材による基礎力強化）
- ・ ライティング（教科書、ALTの授業で和文英訳やパラグラフライティングなど）
- ・ スピーキング（教科書、ALTの授業で）

#### 3年次 【難関入試レベルに対応する力の養成】

- ・ リーディング、文法、ライティング、リスニング、スピーキング（教科書、ALTの授業で）
- ・ 問題集を使った演習

## 5. 1年生で学習する科目

### 英語コミュニケーション I（3単位）

#### 使用教材

- ・ New Rays English Communication I（いっずな書店）
- ・ 学習ノート、WORKBOOK（上記準拠教材）
- ・ 単語集
- ・ サイドリーダー

#### ○ 予習

1. **まずは辞書なしで本文全体を読み通し、どんな内容かを大まかにつかむ。**  
★初めから辞書を引いてはいけない。リーディングの力が身につかない。わからない単語があっても、最初はできるだけ前後関係から推測すること。
2. **次に、文構造（SVなど・・・）に注意して、一文ずつ意味を考える。**  
わからない単語は辞書を引いて、つづり、品詞、意味などをノートにまとめる。  
★ただ日本語に置き換えればいいのではない。どういうことを言っているのか、筆者の意図を読み取ること。

#### ○ 復習

1. ノート、授業中に取ったメモを見て、ポイント（単語、熟語、文構造、文法事項など）を確認する。適宜、辞書や文法書を参照する。  
★授業があったその日に（遅くとも次の日に）やる。
2. 文字を見ないで、リスニングCD等を聞きながら本文の意味を考える。
3. **意味を考えながら、本文を何度も音読する。**  
★本文を覚えるつもりで、何度も何度も読む。（一人で、あるいはCD等と一緒に）音読は語学学習の基本。これをおろそかにしないこと。
4. 進度に合わせて、ワークブックを解く。

## ○ 単語集の勉強

- ・覚えた単語を定着させるためには、小テスト前に詰め込むのではなく、1週間使って覚えることが大切。**毎日短時間**やること、1週間の間に**何度も繰り返す**ことが効果的。
- ・付属のCD等を利用する。つづり字を見ながら繰り返し音声を聞いたり、発音練習したりする。見て覚え、聞いて覚え、そして書いて覚える。
- ・使える単語力を身につけるには、**例文の中で覚える**ことが重要。単語集の**例文を繰り返し見て覚える**。

### 【年間授業計画】

|        |                  |
|--------|------------------|
| 1 学期前半 | Lesson1～Lesson2  |
| 1 学期後半 | Lesson3～Lesson4  |
| 2 学期前半 | Lesson5～Lesson6  |
| 2 学期後半 | Lesson7～Lesson8  |
| 学年末    | Lesson9～Lesson10 |

- ・ 考査毎に2レッスンずつ進む。

## 論 理 表 現 I (2単位)

### 使用教材

- ・ EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced (数研出版)
- ・ ERATHRISE English Grammar in 33 stages、ワークブック (上記準拠教材)
- ・ ERATHRISE アースライズ総合英語 (参考書)

## ○ 予習

1. 参考書の該当箇所を読む。
2. テキストの左ページの例文と意味、その解説を読む。  
テキストの右ページの問題をノートにやる。  
ノートには、問題の答えとなる部分だけではなく、必ず**英文全体を書く**こと。和訳の問題も英文を書いてから訳す。

## ○ 復習

1. 授業内容を復習する。間違えた問題はもちろん、授業のポイントをしっかりと見直して理解する。
2. テキスト左ページの例文を覚える。  
その**例文のポイント**をしっかりと意識して、日本語→英語にできるようにする。  
読んで覚え、書いて覚える。  
★基本となる英文の習得なくして、表現力は身につかない。この段階をクリアできなければ、その先に進めない。
3. 問題のページを解答する。
4. 授業の進度に合わせて、ワークブックをやり、学習内容を定着させる。疑問点があったら、再度参考書を見る。

### 【年間授業計画】

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 1 学期前半 | Lesson1～Lesson3   |
| 1 学期後半 | Lesson4～Lesson6   |
| 2 学期前半 | Lesson7～Lesson9   |
| 2 学期後半 | Lesson10～Lesson12 |
| 学年末    | Lesson13～Lesson15 |

- 1年で高校英文法を一通り学習する。

